

平成11年度漁村少年水産教室開催

宮古支庁農林水産振興課 中田祐二

1. 目的

義務教育課程にある生徒を対象に、水産に関する基礎知識の習得と、地域の自然や資源、地域の漁業を理解させるとともに、新しい時代の「つくり、育てて、とる漁協」(栽培漁協)の体験を通して海の資源の大切さを知ってもらい、生徒の健全育成を図ることを目的に、漁村少年水産教室を開催しました。

2. 教室名

【クルマエビ養殖体験学習】

3. 実施対象

平良市立西辺中学校 1・2年生 46名対象

4. 日程

平成12年3月18日(土)

9:45

生徒集合

9:50~10:00

西辺中学校→クルマエビ養殖場

10:00~10:10

開校式

10:10~10:15

場内見学

10:15~11:40

講義

(クルマエビの生活環について

中田普及員)

(クルマエビ養殖場の1年 内間場長)

10:40~11:20

出荷選別・箱詰め体験学習

場内自由見学

11:20~11:30

講義

(クルマエビの流通について 中野氏)

11:30~11:40

総括質疑

11:45~12:00

クルマエビ養殖場→西辺中学校

12:00

終了

5. 実施場所

平良市漁業協同組合クルマエビ養殖場

6. 講師

内間 勲

(平良市漁業協同組合クルマエビ養殖場長)

中田 祐二

(宮古支庁農林水産振興課水産改良普及員)

中野 逸夫(大都魚類株式会社課長代理)

7. 経過

本事業は本来平成11年5月を予定していたが、前年期のクルマエビの生産が平成11年3月一杯をもって終了してしまい、年が明けた平成12年3月18日に開催することとなった。

当日は西辺中学校に9:30に集合し、生徒は宮古支庁のバス、公用車、先生方の車を利用し、クルマエビ養殖場まで移動した。

定刻通りにクルマエビ養殖場に到着し、開校式を行った。主催者を代表し宮古支庁農林水産振興課長とクルマエビ養殖場長から挨拶を行っ

た。

開校式が終了した後、場内見学をし、場内の施設について簡単に説明し講義に入った。講義では、水産業改良普及員とクルマエビ養殖場長から講義を行った。普及員は、クルマエビとはどのような生き物か、クルマエビはどのように大きくなるかなどについて説明を行い、場長からはクルマエビ養殖場の1年について説明をした。実際養殖に使っている餌や珪藻などを見せながら講義を行った。

西辺の生徒達は照れ屋が多く、なかなか質問が出せなかった。しかしそれもあらかじめ予想していたので、先生からの提案で生徒達には付箋紙に質問や感想を書いてもらい、後からたくさん質問が集まることとなった。

講義が終わると体験学習の時間となった。今回は人数が多く、2班に分かれて体験学習を行った。1班はエビの選別と梱包作業の体験学習。もう1班は場内自由見学を行い、終了次第交代する事となった。

自由見学では生徒が自由に場内を見学して回り、実際に仕掛けてある収穫網を引き揚げたり、顕微鏡を使ってエビ幼生を観察したりした。また、砂を敷いた生け簀の中にクルマエビを放し、エビが砂の中にいる様子を再現し、生徒達が手で掘り出し観察を行った。

選別の体験学習では

エビの選別梱包体験では、実際に養殖場で生産されたクルマエビを使って行った。生徒達は初めてさわるクルマエビに驚きながらも、上手に箱に詰めていった。選別作業を説明していた養殖場の職員からエビの選別の方法や性別の見分け方の説明があると生徒達は興味深く話を聞いていた。

体験学習終了後に大都魚類株式会社の中野逸夫課長代理によるエビ流通に関する講義があった。エビ流通の外にも大都で扱っている海産物がどこから来てどのように食卓に上がっているかという話があり、今回生徒達が見たエビもそ

の中の一つの商品であるとのことであった。

水産教室の最後に、今回の水産教室中に付箋紙に書いた質問が集められた。生徒達から出た感想や質問が読み上げられ、今回講義を行った3人の講師が質問に答えた。また、「場長は若いけれどいくつですか」と予想外の質問に講師陣が答えに困るシーンが見受けられた。

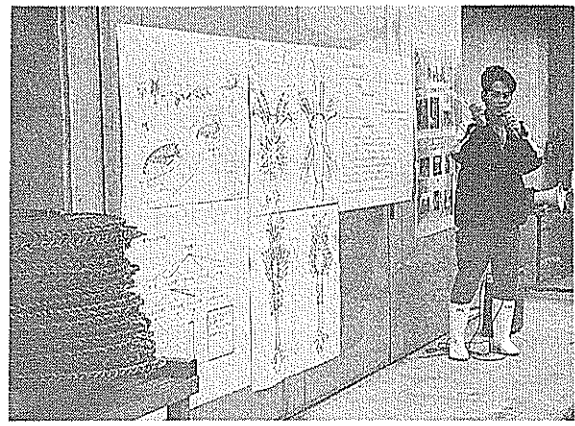
8. 所感

今回の水産教室は子供達も非常に興味を持って授業に取り組み、地域で行われている水産業について理解すると言うことはでき、成功裏に終わったと思う。しかし先生と相談した結果「生徒の自主的学習」と言うことをサブテーマに水産教室を行ったが、どこまで自主的さを出させたかはわからなかった。西辺中学校は次年度以降も総合学習の授業の中で水産業について学んでいくとのことで、普及員や地域の漁業者も協力してバックアップしてゆきたい。その中で生徒の自主的な学習についても取り組んでいきたいと思う。

今回の水産教室は、琉球新報・沖縄タイムス・琉球放送・宮古毎日・宮古新報・月刊養殖等にも取り上げられ、非常に好評であった。これも出荷の忙しい時期に少年水産教室を受け入れていただいた平良市クルマエビ養殖場の皆様や、突然の依頼にも関わらず快く講師を引き受けていただいた中の逸夫氏等のおかげであり、この場を借りてお礼申し上げたい。



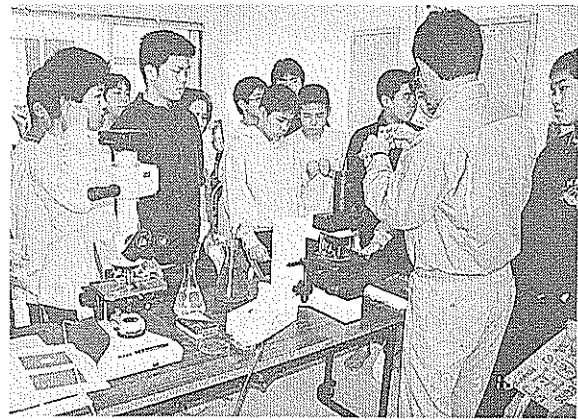
開校式後に講義を受ける生徒



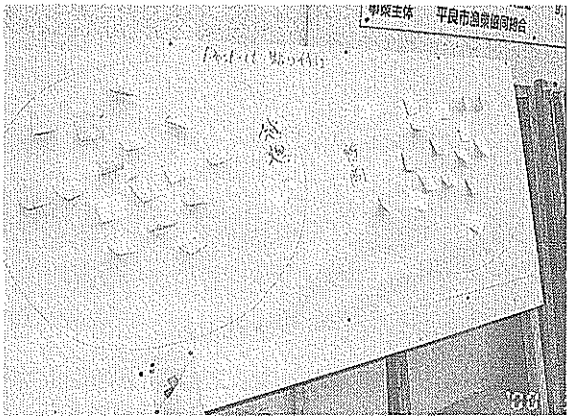
内間場長による講義



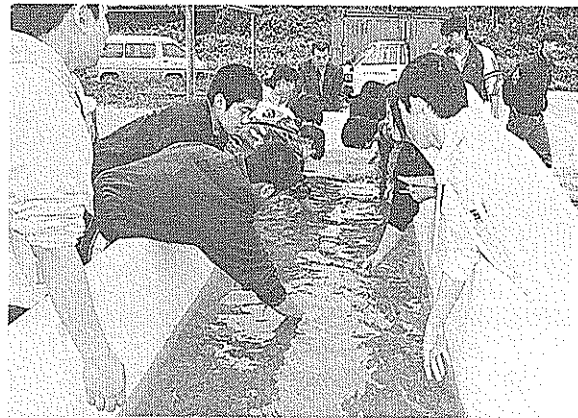
選別体験学習に戸惑う生徒達



顕微鏡を使った実習



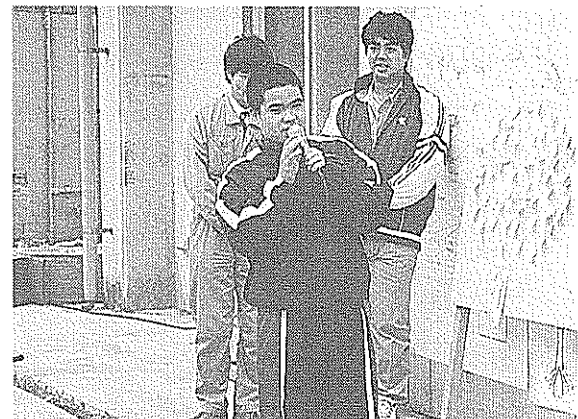
質問・感想を張り付けたボード



砂の中からエビを探す



中野逸夫氏による講義



生徒代表によるお礼の言葉